



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### 関西国際空港のコードはなぜ「KIX」なのか

空港には「IATA(国際航空運送協会)空港コード」と呼ばれるアルファベット 3 文字で表記される空港コードが付されている。成田は「NRT」、羽田は「HND」などだ。海外でも同様にジョン・F・ケネディ国際空港は「JFK」、シャルル・ド・ゴール空港は「CDG」であり、このコードを見ればどこの空港かほぼ分かる。

そうした中、関西国際空港(Kansai International Airport)のコードは「KIA」ではなく「KIX」だ。「KIA」としたかったのだが、開業した 1994 年当時、パプアニューギニアのカイアピット空港(Kaipit Airport)がすでに「KIA」を取得していた。当時「KI」に続くアルファベットは「I」か「X」しか残っておらず、やむを得ず「KIX」に決定したのである。



### トラベル(の語源)

トラベルの語源は、ラテン語の拷問器具(trepalium)から英語のトラベル(travel)という言葉が生じたものである。

また、トラベルから派生したのが「苦痛」を意味するトラブル(trouble)だ。昔の旅は過酷な徒歩に





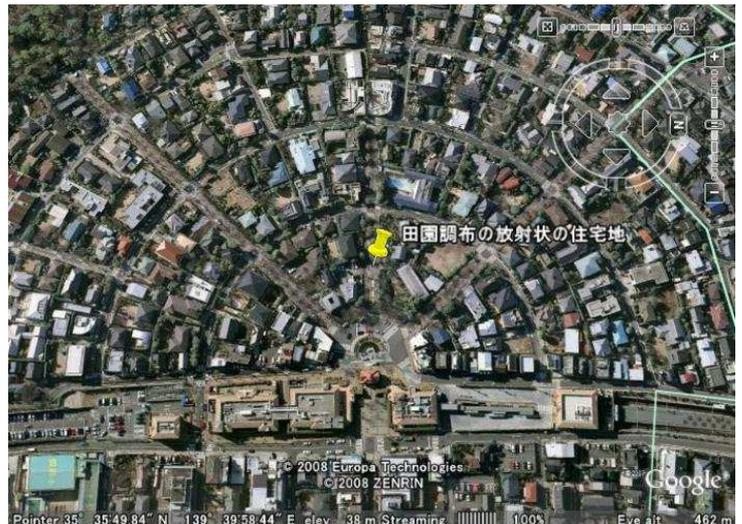
## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

よる移動が大半であり、時には旅行者を狙う盗賊も横行していたため、旅は苦痛そのものだった。現在の旅行は航空機、鉄道、車の発達で快適に楽しむことができるが、トラベルの語源は拷問器具であり、さらにトラベルからトラブルという単語が生まれたのである。

### 田園調布(の名前の由来)

東京都大田区の最西端にある「田園調布」は高級住宅地として知られ、多くの著名人が居住している。田園調布駅の西側に広がる(パリの凱旋門からの放射線状に延びる通りを真似た)扇状の街並みが特徴的である。

この地は、大正7年(1918年)以降、渋沢栄一を中心として設立された田園都市株式会社によって開発され、「田園調布」と名付けられた。それ以前は「調布村」といい、麻の皮を晒して布を作り宮中に献上していた土地柄だった。「調」は「みつぎ」ともいう租税のことで、貢物として布を献上していたことが調布村の名前の由来である。



(付記)田園都市株式会社は理想的な住宅地開発を目的に立ち上げられた会社であり、現在の東京急行電鉄、東急不動産の始祖に相当する会社である。

・写真は google map より

### 韋編三絶(死語になった言葉?)

孔子は「易書」を好んで熟読し、繰り返し、繰り返し読んでいた。そのため、綴紐(とじひも)が三度も切れてしまった。「韋編(いへん)」とはなめし革の紐で綴じた竹の札のこと。転じて広く書物のことをいう。韋編三絶とは同じ書物を何度も繰り返し読んで読むことをいう。個人的に好きな言葉だが、このところ見かけることがなくなった。死語になってしまったようだ。

死語といえば「社会の木鐸」もそうだ。木鐸とは法令などを市民に触れ歩く時に鳴らした大きな鈴のこと。社会の木鐸とは、新聞が社会に向かって警鐘をならし、その行く手を指し示すという意味



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

だ。しかし、近年の新聞は門田隆将氏の「新聞という病」を読むまでもなく、かつての役割を忘れてしまったようだ。「社会の木鐸」が死語になった(?)のもやむを得ないのかもしれない。

### 受験生に人気の「上野大仏」

上野精養軒に隣接する大仏山という丘の上に顔面だけの大仏がある。1631年(寛永8年)に建立された像高6mほどの釈迦如来坐像だった。しかし、関東大震災などによる罹災で損壊し、胴体部分も太平洋戦争時の軍部への金属供出で失われてしまった。



こうした経緯によって顔面部だけが残り、1972年(昭和47年)寛永寺に保管されていた顔面部をレリーフとして旧跡に安置し、現在のような「上野大仏」になったのである。顔面部だけが残ったことから「これ以上(顔が)落ちることはない」という意味から「合格大仏」と呼ばれ、受験シーズンには多くの受験生や親たちが参拝に訪れているという。

・写真は Wikipedia より